

フジテレビの一連の事案に関する発表を受けて

フジテレビの一連の事案に関し、視聴者の皆様をはじめとする多くの方々に
ご心配ご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。

今回の事案で、フジテレビは、経営体制を刷新したうえ、3月31日の第三者
委員会の調査報告を受けて、「フジテレビ再生・改革に向けたプラン」を打ち出
しました。

同プランは、①人権尊重の徹底、②企業風土改革、③ガバナンス強化、④フ
ジテレビの未来を見据えた人的資本経営戦略の4つに大別されます。

弊社におきましても、これを教訓に、社内外のステークホルダーの人権を第
一に考える人権尊重経営の実現を図ります。そして、社会の公器である報道機
関としての責任と自覚をもって、県民の皆様方に信頼される富山テレビをめざ
す所存でございます。

今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

富山テレビ放送株式会社

人権尊重経営宣言

2025年4月1日

富山テレビ放送株式会社

富山テレビ放送は、県民の皆さまとの対話を重んじ、開かれた企業として社会から信頼される存在であり続けるため、ここに人権尊重経営を宣言します。

人権とは、すべての人が等しく持つ、普遍的で不可侵の価値であり、私たちのあらゆる事業活動の根幹をなすものです。

この宣言は、社内外のステークホルダー（社内においては当社で働くすべての人、社外は視聴者、取材対象者、スポンサーなど業務上で関わるすべての人）の人権を第一に考えて、日常業務にあたり、人権尊重経営を実践することを目的とします。

< 行動指針 >

・報道機関としての社会的責任の自覚

社会の変化や価値観を的確に捉え、放送人としての姿勢を再確認する。

・幹部の模範的行動の促進

管理職が率先してルールを遵守し、組織の意識改革を進める。

・対話を重視した組織文化の醸成

上下関係なく多様な意見を尊重して、建設的に扱われる風土を醸成する。

・適切な言動と価値観の尊重

職場内における発言や行動において、悪意がなくてもハラスメントになり得ることがある。

世代や性別による認識の違いから、意図せず不快感を与える場合がある。

適切な言動と価値観の尊重で、互いに尊重し合う文化を醸成する。

以上